



六月の風物詩「あんず取り」(管理組合主催)

ゆり北

第226号 (21期第2号)

発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

TEL03 (3977) 0228番

発行責任者 塩 原 継 雄

春の板橋クリーン作戦

明るく・やさしく・住みやすいまちづくり

人と環境とが共生する都市、「エコポリス板橋」を実現するため、地域住民の個々の活動を束ねる形で、平成十三年にエコポリス板橋環境行動会議が設立されました。板橋区全域を網羅するすべての地区の代表者と各種の団体代表者によって構成されてお

朝七時三〇分から、東武東上線下赤塚駅南口と北口の二ヶ所、及び営団赤塚駅、板橋寄りの二ヶ所で行われる「ポイ捨て防止キャンペーン」、十二月に行われる「年末クリーン作戦」などです。

ており、板橋区内十八の出張所単位になっています。当、ゆりの木北自治会の所属するのは「エコポリス板橋下赤塚地区環境行動委員会」とい

いまでも住民環境美化活動としては、「ゆりの木会(老人会)」による週一回の清掃や、青少年を中心に行われているクリーンボランティアが実績を積み重ねています。

い、下赤塚出張所管内の、町会、自治会、小学校、中学校、各PTA、老人クラブ、リサイクル推進委員、商店、事業所など、七四名のメンバーによって運営されています。

今年度の主な事業は、五月三〇日(金)～六月五日(木)に実施した「春の板橋クリーン作戦」、七月十五日(火)

さて、ゆりの木北自治会では、住民が参加しやすい日曜日朝に一斉清掃を設定しました。六月一日(日)朝八時から約一時間三〇分にわたり、ゆりの木会、クリーンボランティアグループ、自治会の三団体、四才から八八才までの老若男女三〇余名が参加して、時々小雨の降る中、団地

内や、けやき通り(新町公園と団地との間の道)の清掃を行いました。最後にゴミの分別を確認して物量を記録した後、通常のゴミ収集とは異なり、「春の板橋クリーン作戦」で決められた新町公園の指定場所までゴミを運びました。そして冷たい飲み物をいただきました。解散しました。参加した皆様本当に御苦労様でした。それにしても、タバコの吸い殻の路上ポイ捨て、飲み物の空き缶やペットボトルの植え込みへの投げ捨てなど、マナーの悪さを嘆くクリーン作戦でしたが、私達自治会としては、今後も「クリーン作戦」に参加してきれいな住みやすいまちづくりに務めていきます。

(生活環境部)

住宅対策部紹介

先月号で自治会専門部の担当役員を紹介しましたので、今月から順次専門部の活動を紹介します。

住み続けられるまちづくりをスローガンに、主に次の活動を行っています。

(一) 賃貸住宅(一、一～一四号棟)の施設や設備の点検を行って改善項目を、また居住者の要望を取りまとめ、都市基盤整備公団に要請します。

(二) 賃貸住宅自治会の組織である全国公団住宅自治会協議会並びに二三区自治会協議会の活動に参加して、情報収集、意見交換、さらに署名・カンパによる公団、官庁、国会等への陳情を行っています。

(次号に続く)

自治会結成二〇周年記念

第二回 住民要望と自治会づくり 吉柳俊孝

団地に入居して三ヶ月、当初の補修対応も業者が駐在していた一ヶ月はスムーズに運んだものの、撤収してからは「補修伝票を出したが見に来てくれない」、「業者間のたらいまわしで対応してくれない」など建設に関わるもの、オートバイの騒音・商店街の呼び込みの声・よしやの冷凍機の騒音。駐車場の料金が安い、周辺が公団の設定にあわせて値上げした。等様々な意見・要望が出てきました。こんな声を解決しようとする五名の発起人が集まり、自治会の準備が始まりました。発起人会から準備会へ枠を広げ、六カ月後の九月二五日には結成総会の開催にこぎつけました。結成総会の時点での入会者は六〇%

四六一世帯でした。この日ゆり北と同じ第一次入居の公園南団地でも自治会結成が行われました。

その後は、赤塚地区を知ろうと東京大仏・松月院へのハイキング、クリスマス会などの親睦行事、区長・警察・消防・郵便局等の行政機関への要望活動、広報「ゆり北」の発行などの活動が展開されました。

最初の冬となった一月は寒気の厳しい年でした。雪も何回か降り団地内の北側の凍結は大変なものでした。こんななかでご自慢だった地域の暖房がダウン。一転冷蔵庫の中の生活になりました。原因は暖房のピーク時設定を低く見誤ったためでした。同種の暖房を取り入れている、関西の団地を参考に設定したためとの事でした。その後も何回かこの現象は起こり、その度に熱供給会社との折衝を行い施設の改修工事が行わ

れました。

団地内の清掃は、管理組合、公団により行われているものの、きれいな環境を自分たちでも守ろうと、板橋区・公団から竹箒・塵取りなど掃除道具の提供を受け、大掃除会を始めました。除雪作業もこれらの一環として始められたものです。

二年目の十月には大規模な防災訓練が行われました。三三番地に訓練用のハウスを自前で作り、四〇〇名の住民が参加しました。痴漢も出没、暴走グループの夜間走行が始まるなどもあり、夜警の実施も始められました。

二年目の夏ごろからダニの被害が始め、三年目にはピークに達しました。ダニ防除薬の配布、防除方法の周知などに努めました。この時期の活動は現在の活動のパターンを作り出しています。

夏まつりのお知らせ

ボランティア募集

今年は二〇周年ですので、積極的に参加して、お祭りを盛り上げ楽しみたいと思います。

まつり日程

八月三〇日(土)

午後三時～九時三〇分

八月三十一日(日)

午後三時～八時三〇分

舞台設営(各十名)

八月二十四日(日) 午前十時～

八月三〇日(土) 午前十時～

会場設営(各十名)

両日午後一時～三時

清掃・警備(各十名)

まつり開催中

お楽しみコーナー(各三〇名)

両日午後二時～七時(一部は九時)

小学四～六年生と一緒に綿菓子、

フワフワドーム、スーパースポールな

どのお店を運営

出店大募集

模擬店

出店料 五、〇〇〇円(二日間有効)

営業時間はステージ終了三〇分前

まで(厳守)

フリーマーケット

出店料五〇〇円(二日間有効)

商品はリサイクル品、リユース品

に限る。営業時間は、午後三時～

七時三〇分

ステージ出演者募集

開演時間(予定)

三十日(土) 午後三時～九時

三十一日(日) 午後三時～八時三〇分

一人でもグループでも団体でもゆ

り北の人大歓迎。持ち時間は約三〇

分。

くわしくは

七月中旬掲示のポスターを

ご覧下さい。



ゆりの木保育園から

こんにちは

十一号棟一階にある板橋区立ゆりの木保育園を紹介致します。昭和五十八年四月一日に開園し、地域の乳幼児の育成にあたってきました。おかげ様で今年で二十一年目を迎えました。地域の方々には、日頃大変お世話になり、またご迷惑をおかけしております。

近頃の四季折々の自然に恵まれた光が丘公園を遊び場として、子ども達も伸々と元気に過ごしています。ゼロ才から五才までの子ども達も、それぞれの集団生活の中でいろんなことを体験し、共に育ち合いながら大きく成長しております。

地域に開かれた保育園ということ。在宅の子ども達の援助・支援も保育園の役割となりました。少しでも子育ての悩み、相談等ありましたらお電話下さい。どんな小さなことでも結構です。専門のスタッフが対応致します。また地域の方々が保育園を利用できるようにと、月一回、第四水曜日園庭を開放しております。

保育園を見学しながら、園庭で親子で一緒にあそびでみませんか。秋には、一日お楽しみ会を予定しております。年長児が地域の方々をお招きしてお店を開きます。いづれも保育園周辺のフェンスと門の所にポス

ターを貼りますのでご覧下さい。

保育園の子ども達、地域の子も達、どの子ども達も幸せで健全な心身の発達が保障されなければなりません。ご家庭や地域社会との連携を図りながら地域における子育て支援を進めて参りますのでどうぞ気軽にご利用下さい。

問い合わせ
板橋区立ゆりの木保育園
園長 今村 安恵

電話 三九七七一六五〇
FAX 三九七七一七二三



ゆりの木児童館は二〇周年を迎え、六月一四日(土)に『二〇周年まつり』と銘うって、子ども達とその保護者そして職員等と、大勢でにぎやかに祝いました。

特別公演である二人のピエロさんによるどろぼうと刑事のパントマイムは好評で、一枚の板を囲いに見立てたエスカレーター乗降のすばらしい演技は、観客を魅了しました。その後は、小学校高学年の実行委員と保護者によるお楽しみコーナーで、スライム、わたあめ、スーパースターなど、参加者は楽しい時を過ごしました。

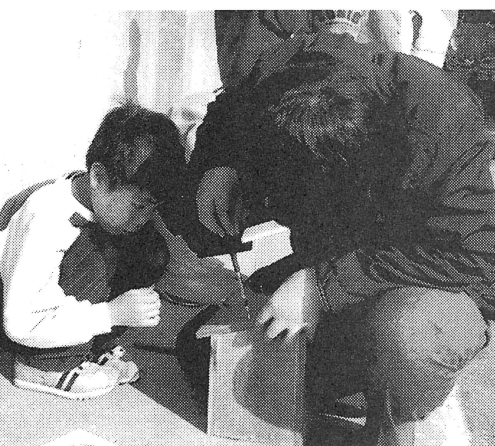


いきいき親子屋 親子で巣箱作り

二月一五日赤塚新町小学校でジャオクラブのお父さん達の指導でシジュウカラの巣箱作りをしました。

シジュウカラはほつぺたが白、あごから胸にかけては黒のネクタイをつけたように見える小鳥です。大きさはスズメと同じくらいですが、スズメよりも警戒心が強いのでちよつと見つけにくいかな?でも光が丘公園や新町公園にはたくさん住んでいて、ツープツープツープと鳴きながら枝から枝へ飛び回っています。

新町小の子供達がそんなシジュウカラ用の巣箱作りに挑戦しました。小鳥用の巣箱とはいえ、本格的なものだけに、ジャオクラブのお父さんたちが前もって適度の長さで切った杉板を準備しました。それでも、背板と底板をのこぎりで切り離す作業だけは子供達に残してありました。生まれて初めてののこぎりを持った子もいましたし、かなづちで釘を打

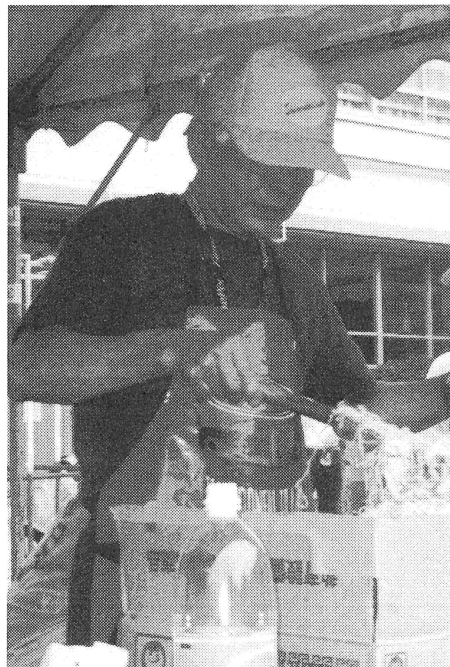
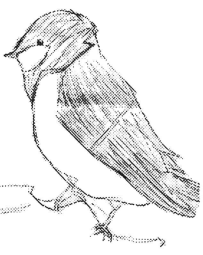


つものなかなか難しかったようですが、お父さんお母さんに激励されながら何とか無事に全員立派な巣箱を作ることができました。

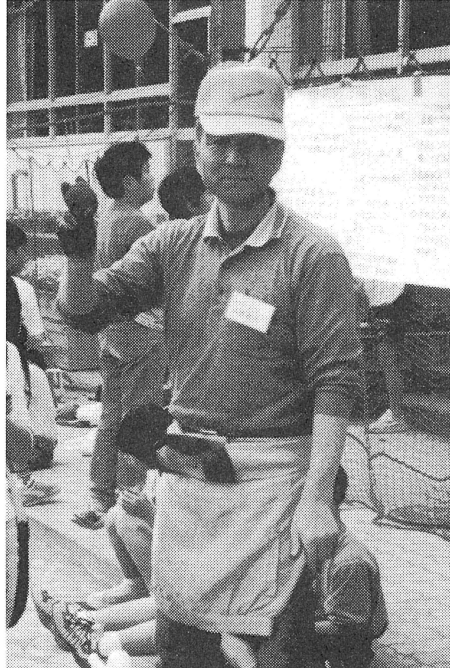
出来上がった巣箱は学校の校庭や新町公園、そしてこの団地の中の木にかけました。板が新しいので今年は無理のようですが、来年あたりにはシジュウカラが利用してくれるかもしれません。

さてどの木に子供たちの巣箱がかけられているか?皆さん見つけてみてはいかがでしょう。そしてどの巣箱に最初のシジュウカラが入るのか、子供たちは楽しみにしています。

五一九〇七 杉本 敏夫



大人気で汗みどろになっても一心不乱で焼きそば作り(平野)



こちら大人気ピカピカ泥団子

下赤塚こどもまつり

三〇〇〇人の親子でにぎわう

日本の治安状況の悪化で、子ども達も大人の命も脅かされる状況が起きている今日このごろですが、子ども達の安全をどのようにして守り、自由のびのびと遊べる環境を作るか、その場を提供する目的で五月二五日(日)下赤塚小学校で「下赤塚こどもまつり」が開催されました。

当日は心配された天候も好天に恵まれ、十時開会を待ちきれない子どもたちが行列をつくっていました。

ゆりの木担当(一ノ棟の田中さんと平野)は「やきそば」で、約五〇〇食分を二つの鉄板でつくり、ピーク時の十一時半から十二時半は焼きあがるのを待つ行列が三〇メートルも続き、焼きあがると列は短くなり、またながくなる、いう繰り返しの様子でした。

会場は食べ物コーナーの他に親子

で遊べる六種類のゲームコーナーが設けられてあり、子ども達に開放され楽しそうに飛びまわって歓声を上げていた姿が印象的でした。ただ、ゆりの木からの参加者が少ないように思えたのが残念。

毎年五月後半の日曜日に開催されます。来年はゆりの木からもたくさん家族の参加を期待します。私もお手伝いの声がかかったら参加したいと思っています。

十一九〇六 平野

ゆりの木児童館二〇周年まつり